

宇部市総合計画審議会生活環境分科会（第4回）議事録 【要旨】

日 時 平成21年4月30日（木）15：45～17：00

場 所 宇部市役所2階 第1会議室

出席者（委員）藤重清美 脇和也 北野洋子

（事務局）新総合計画策定室長 廣中昭久 総合政策課員 小林郁美

（専門部会）環境部次長 今川利夫 都市開発部次長 内田英明

欠席者（委員）松崎益徳 篠田佳代子

1 生活環境分野における今後の方向性（SWOT分析の検討）について

<他の分科会に提案した戦略について>

（事務局）（当日配布資料に基づき、趣旨を説明）

当分科会で出た戦略案を産業振興分科会を中心に他の分科会に検討を委ねることについて、何か意見は。

（委員）教育文化分科会に検討を委ねる予定の戦略（共存同栄のまちの歩みになった教育に重点を置いたまちづくりの展開）は、理念的なものであり、戦略として具体案を出しづらいものかもしれない。他の戦略については、異論はない。

（事務局）「共存同栄」の歴史ある本市の取組は、新総合計画の中でもまちづくりの目標とは別に位置づけたいと考えている。必要な調整は事務局で行いたい。

<他の分科会から検討を委ねられた戦略について>

（事務局）（当日配布資料に基づき、趣旨を説明）

他の分科会から検討を委ねられた戦略案について、何か意見は。

（委員）情報通信インフラ整備に係る健康福祉分科会での意見以外は、ほぼ現在、当分科会で出ている意見と方向性は同じであり、現状の戦略に包含できる内容であるので、特に問題はない。

（事務局）情報通信インフラ整備に係る戦略に関して、今年度、国からの補助を得て、CATV網敷設事業を実施する予定であり、これによりほぼ全市を網羅することが可能となる。CATVによりインターネットも可能であることから、行政が関わるのが可能なインフラ整備は完了することになる。また、このことだけで若者の定住が促進できるかどうかは疑問であり、複合的な取組が必要であると考えます。なお、学生に目を向けた戦略については、現在、改善戦略の中で挙げている。

（委員）指摘どおりだと思います。情報通信のインフラ整備に関しては、定年退職後などにパソコンを始める人が増えており、今後もその傾向にあると考えられることから、高齢者の情報化への対応が重要になるのではないかと。

（事務局）その部分については、戦略の一つとして追記する方向で考える。

<成長のための戦略について>

（事務局）誰もが住みやすい、質の高い生活環境づくりとして、量から質への転換を戦略として挙げているが、強化のための戦略の中でインフラ整備に関し、質的整備に軸足を移すという同趣旨の戦略を挙げており、重複した状態になっている。したがって、両者を一つの戦略としたらと思うが、何か意見は。

（委員）異論はないので、事務局でまとめてもらいたい。

（事務局）山大附属病院を核にしたまちづくりを進めるという提案については、行政としては関わり方が難しいし、具体的過ぎる案だと考えている。また、まちづくりに対する協働の意識レベルの向上という提案であるが、これは、当分

- 科会での戦略のみならず、全体共通事項として別途整理させていただきたい。
- (委員) 山大附属病院に係る戦略については、希望する取組であるが指摘どおりなので取り下げたい。また、協働については、お任せする。

<改善のための戦略について>

- (事務局) 彫刻に関する市民ぐるみの取組について、教育文化分科会の分野以外で取り組める戦略として、同分科会から清掃等の市民の自発的な活動の促進という意見が寄せられている。また、緑の町と呼ばれた景観復活という戦略については、成長戦略の市街地緑化に含められると思うが、何か意見は。
- (委員) 私自身、彫刻の清掃ボランティアに入って活動しているが、彫刻に市民が親しむ機会、環境が必要だと感じている。もっと多くに市民に参加してもらえるよう、啓発が必要ではないか。
- (委員) ボランティアなどの市民活動については、学生も地域に巻き込む戦略の一つとして有意義だと思う。そのためには、地域や団体、行政など様々な主体からの働きかけが大切である。

<改革のための戦略について>

- (事務局) ここでは、常盤公園の今後の整備方針について、健康志向型の都市公園として、という方針であるが、全体会議の中でも説明してもらったとおり、今後の常盤公園の整備方針について、これから別途委員会を立ち上げ、検討を進める予定となっており、今、最上位計画である総合計画において方針を定めてしまうと、そちらの検討が困難になることから、戦略としては、その方向に含みを持たせた形で結論は保留するような表現に変えさせていただきたい。また、「日本一」を目指す心構えをという提案について、戦略としてどう取り扱うかについて、何か意見は。
- (委員) 常盤公園については了解する。また、「日本一」を目指す心構えをという提案については、取り下げる。

<まちづくりの目標について>

- (事務局) まちづくりの目標について、まず表現については、「……まちづくり」というような表現で統一できたらと考えている。また、意見を4件いただいているが、どのように取り扱うか、何か意見は。
- (委員) 住民が主体の「人と緑と環境にやさしい」まちづくりという案を目標とし、一人ひとりが宇部づくりのプロにという案をその手段として組み合わせたらどうか。
- (委員) その意見でいいと思う。
- (事務局) では、具体的な文案は事務局で作成し、委員長に確認をしていただいた上で当分科会の目標とさせていただいてよいか。また、戦略についても、本日の協議の結果を踏まえ、事務局で整理し、あわせて委員長に確認いただくということでよいか。
- (委員) 了解。

<最優先の戦略の選定について>

- (事務局) 会長の意向により、当分科会として、種々の戦略の中で特に優先度の高い目玉となる戦略を選定させていただきたい。何か意見は。
- (委員) 本市独自のコンパクトシティー化の取組とこれまでなかった学生に目を向けたまちづくりへの取組の二つがいいのではないか。
- (委員) その意見でいいと思う。
- (事務局) それでは、そのようにさせていただくことにする。以上で、当分科会での審議を終了とさせていただく。